

**ウエイト
リフティング****嶋本、八木選手が五輪へ**

五輪出場報告会に臨んだ嶋本選手(右)。左は阿波裕子監督
 金沢学院東高校多目的ホール



花束を手にオリピックへの抱負を語る八木選手
 金沢学院東高校体育館



ウエイトリフティング競技の嶋本麻美選手(金沢学院職員)と八木かなえ選手(金沢学院大学スポーツ健康学部2年)が5月12日、ロンドンオリピックの日本代表に決定しました。嶋本選手は女子75kg超級、八木選手は同53kg級。これで、本学からは先に代表に決定しているトランポリンの伊藤正樹(同大学院)、岸彩乃(同スポーツ健康学部2年)、水泳女子高飛び込みの中川真依(同大学院)の3選手と合わせ、計5人がロンドンへの切符を手にするようになりました。本学主催のオリピック出場壮行会は6月9日に開かれます。

ロンドン切符 本学から5人**来月9日に壮行会**

嶋本選手は、金沢学院大学経営情報学部を卒業後、学校法人金沢学院の職員となり、前回の北京

五輪ではかなわなかった「夢」の実現に向けて競技力の向上に努めてきました。スナッチ、ジャークのトータルで260kgの日本記録を持っていきます。3月末に世界選手権での成績が6位に繰り上がった時点で代表の内定を得ていました。「ロンドンでは270kgを挙げたい。応援してくれる皆さんのために頑張る」と意欲を見せています。和歌山県出身、24歳。八木選手は同競技を始めたのが高校2年生の時。3月

の日本記録を持っていきます。3月末に世界選手権での成績が6位に繰り上がった時点で代表の内定を得ていました。「ロンドンでは270kgを挙げたい。応援してくれる皆さんのために頑張る」と意欲を見せています。和歌山県出身、24歳。八木選手は同競技を始めたのが高校2年生の時。3月

東高でステツセルのピアノ演奏会

「ロシアの祭典」をテーマにしたラ・フォル・ジュールネ金沢の公演として5月1日、金沢学院東高校多目的ホールで、本学所蔵のステツセルのピアノが演奏されました。写真。生徒らは、日露戦争でロシアから贈られたピアノの重い歴史を感じさせる音色に聞き入りました。



めたのが高校進学後ながら、全国高校選手権で3連覇し、三宅宏美選手の持つ高校記録も更新するなど活躍しました。金沢学院大学に進学してさらに実力をつけ、今年4月の全日本選手権で初優勝しました。代表決定は世界ジュニア選手権で遠征していたグアテマラで知りました。学内で開かれた報告会では「五輪を楽しみながらも、きつちりパフォーマンスを見せたい」と意気込んでいます。兵庫県出身、19歳。

本学から10チーム出場
 5月13日に金沢城公園で開かれた第11回「利家とまつ」金沢城リレマラソンに金沢学院から運動クラブや教職員チームなど10チームが出場しました。トランポリン部のチームには、ロンドンオリピックに出場する岸彩乃選手も参加しました。ハーフの学内最高タイムは教職員Aチームの1時間33分1秒でした。(写真は教職員選手と応援団)



理事長杯、田中さん優勝
 第12回金沢学院理事長杯争奪ゴルフコンペは5月19日、加賀市の片山津ゴルフ倶楽部日本海コースで行われ、学生部の田中頌吾職員が優勝しました。写真。同コンペには教職員15人が参加しました。2位は細川亮弥就職支援センター部長、3位は野竹正直広報室室長とでました。

